

第34回 オペラ公演「魔笛」を終えて

3月10日(日)大阪
芸術大学の芸術劇場
に於いてオペラ「魔
笛」の公演を行いました。

当日は朝から雨で
したが足元の悪い中
大勢の方々に来て頂
きました。



てを全身で受け止め勉
強し頑張りました。
又、舞台芸術学科の
舞踊コースの学生達の
参加もあり、力強くみ
なぎるダンスがより一
層舞台を盛り上げる事
と相なりました。

公演を盛会に導く
のは、大きな拍手を下さるお客
様方の支えがあればこそと心よ
り感謝し、公演にのぞみました。
芸大送迎バスの協力を得て大学
の玄関から芸術劇場まで、来て下
さった方々をお運びし皆様に喜ん
で頂きました。

会場は満員補助席を出す程
で、出演者一同モチベーション
が頂点に達し学生達の顔は見事
に輝いていました。

芸大オペラに選ばれたソリス
ト達は厳しいオーディションを
受け難関を突破した優秀な学
生達です。本番に向けてやる気
満々幕が開くまでの熱気は言葉
には表す事が出来ません。

昨年の4月から始まったオペ
ラ公演に向けての練習は、出演者
それぞれ自分の役に没頭し歌う
事も、もちろん身振り手振り全

一年間熱心に演技
表現指導と演出を担

當下さった浜畑賢吉舞台芸術
学科長、音楽指導を担当下さっ
た三原剛音楽・演奏学科長は
じめ演奏学科瀬野光子教授・
藤川賀世子教授・水口聡教授、
振付の長尾奈美先生、舞台監督
皆々様のお蔭で公演は大成功に
終わることが出来ました。

最後の幕が下りるまでの3時
間あまりの緊張感は何にも代え
がたいものがあり、大学生のオペ
ラとは言え、何処に出しても恥
ずかしくない最高のオペラだっ
たと、胸を張ると共に誇りに思
います。積み重ね上げた努力、学
習する事への情熱・習得する事の
謙虚さをもった素晴らしい学生
達と力を合わせて創り上げた作
品、心に深く刻まれるモーツァル
トのオペラ公演「魔笛」でした。

大阪芸術大学の音楽レベルの

音楽学科ポピュラー音楽コース 第7回卒業演奏会

(演奏学科教授 藤川敏男)

ポピュラー音楽コース
『卒業演奏会』が3月
20日(水祝)、大阪芸
術大学の芸術劇場に
て行われました。

この演奏会の出演者
は、去る2月に実施さ
れた卒業試験の審査
で、技術やパフォーマンス
スなどの上位得点者を
中心に選ばれました。現役のプ
ロミュージシャンが先生陣として
揃うポピュラー音楽コースでは、
このような実践的なシステムで、
学生が自分の実力を冷静に知る
機会を持つことが出来ます。



出演者のパフォーマンスは、彼ら
の4年間の集大成。力と表現力を思
う存分発揮した演奏は素晴らしい
ものでした。サポートメンバーも渾
身の演奏で盛り立ててくれました。

平成24年度 大阪芸術大学「卒業演奏会」

3月16日(土)午後1時より大
阪芸術大学卒業演奏会、引き続
き第15回大阪芸術大学大学院博
士課程(前期)修士作品演奏会が
昨年と同じく大阪芸術大学内、
芸術劇場にて開催されました。
本年はピアノ・声楽・管弦打の
各コース別での卒業試験、並び
に2月16
日(土)、17
日(日)両
日にわた
り実施さ
れた卒業
制作展に
おける演
奏の評価
を基に選
出された18名(ピアノ6名、声楽
5名、管弦打7名)の学部4年生
と、大学院修士演奏会により選出
された7名の2年生の合計25名
の出演者による演奏会でした。



演奏は各コース上位の成績
で選ばれたという責任を充分
に果たしていたと共に、所属
コースの学生としての最後の
演奏、集大成にふさわしい好
演・熱演を聞く事が出来まし
た。特に学部・大学院それぞれ
の後半の出演者の演奏は、例年
に勝るとも劣らない優れた演
奏成果を感じさせ、演奏家とし
てのキャリアの第一歩にふさ
わしい、充実した内容の演奏を
披露し、彼等の今後の音楽活
動を大いに期待させるものと
なっていました。

学生は卒業後はプロを目指す
人、音楽に携わる職業に就く人、音
楽とは違う道を歩く人、それぞれ
ちにとつては、新たなアイデアを紡
ぎ出す機会となったことでしょう。
学生は卒業後はプロを目指す
人、音楽に携わる職業に就く人、音
楽とは違う道を歩く人、それぞれ
未来は違っても、大阪芸術大学で学
び得た貴重な体験、音楽をいつまで
も愛することを忘れないでしょう。

(演奏学科教授 M A L T A)

(演奏学科教授 森下治郎)